

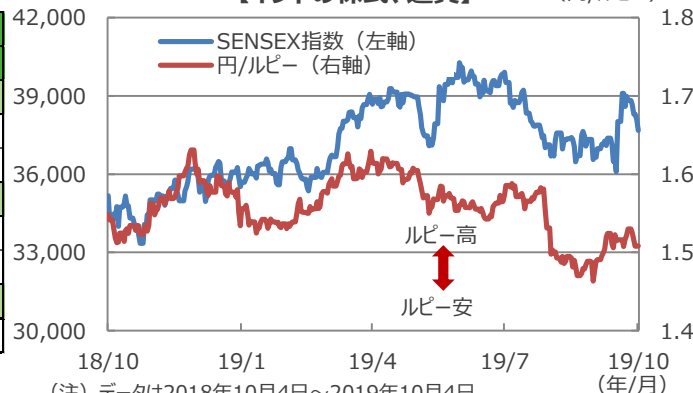
今日のトピック インド株式市場は反落（2019年10月前半） 金融緩和と景気対策による景気回復が待たれる

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	10月4日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.51	▲1.4	2.3	▲6.6	▲2.6
ルピー/米ドル (ルピー)	70.89	0.5	▲1.7	2.5	▲3.7
金利 (%)					
政策金利	5.15	▲0.25	▲0.25	▲0.85	▲1.35
10年国債利回り	6.69	▲0.05	0.14	▲0.66	▲1.47
株式指数 (ポイント)					
SENSEX	37,673	▲3.0	2.6	▲2.6	7.1

(注) データは2019年10月4日基準。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

(ポイント) 【インドの株式、通貨】 (円/ルピー)



(注) データは2018年10月4日～2019年10月4日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント1 株式市場は反落

- インド株式市場は、政府が9月20日に大幅な法人税減税を発表したことを受けて、企業収益の改善や景気の回復期待から急上昇しましたが、その後は利食い売りや世界景気の減速懸念に押されて反落しました。代表的な株式指数であるSENSEX指数は、9月に3.6%高となりましたが、10月に入り▲2.6%安となっています（10月4日時点）。インド準備銀行（RBI）は10月4日に追加利下げを決定しましたが、市場の予想通りだったため買い材料とはなりませんでした。

ポイント2 RBIは追加利下げを決定

- RBIは4日、金融政策決定会合で政策金利を5.4%から0.25%引き下げ、5.15%にすることを決定しました。利下げは市場予想通りで5会合連続です。6人の政策委員のうち5人が0.25%の利下げに投票し、1人が0.40%の利下げに投票しました。金融政策スタンスは緩和的を継続しました。
- また、2019/20年度の実質GDP成長率見通しを6.9%から6.1%へ下方修正しました。一方、消費者物価上昇率見通しについては、2019/20年度下期を3.5-3.7%で据え置きました。

今後の展開 次回の金融政策決定会合も追加利下げを予想

- RBIは、消費者物価上昇率がインフレ目標レンジ（4±2%）に収まっている限り、景気下振れリスクに対して、政策金利の引き下げ余地があると声明文で述べています。インフレリスクが高まらない中、足元の景気が減速しているため、RBIは次回の金融政策決定会合でも追加利下げを行うとみられます。
- RBIの追加利下げに加え、インド政府の相次ぐ景気対策が奏功し、株式市場が堅調さを取り戻すことが期待されます。

ここもチェック! 2019年9月24日 インド株式市場は急上昇（2019年9月後半）
2019年9月 6日 アジア・ウォッチ「インド：モバイル決済への取組み」

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。